



第15回公共建築賞（国土交通大臣表彰）受賞について

亀山市立関中学校が、一般社団法人公共建築協会が主催します「第15回公共建築賞」の生活施設部門において、公共建築賞（国土交通大臣表彰）を受賞することが決定しました。この賞は、事業者（亀山市）、設計者（株式会社石本建築事務所）及び施工者（堀田建設株式会社）の3者が受賞するもので、11月11日公共建築の日に文化シャッターBXホール（東京都文京区）で表彰式が開催されます。

公共建築賞（国土交通大臣表彰）は、昭和63年から1年おきに実施されており、本年4月に発表された優秀賞30作品の中から行政部門、文化施設部門及び生活施設部門の各部門ごとに、最も優れた建築物が1作品選ばれます。この賞は公共建築の総合的水準の向上に寄与することを目的とされていますが、他の建築賞と異なる特徴として、設計・施工が優れているだけでなく、地域社会への貢献や施設の管理、保全といった視点からも評価が行われています。このことから、竣工後3年以上経過した建築物が対象とされています。

関中学校校舎の特徴は、木造で地場産の杉丸太や地域の杉材等を柱、壁、天井等に使用し、「木のぬくもりを感じる校舎」であること、また、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている関宿の町並みが近くにあることから「まちづくりと調和のとれた学校施設」であることが挙げられます。

校舎は平成23年3月の竣工後、5年が経過していますが、この間、生徒は校舎を大切に思い、母校が誇りとなり、さらには地域の方々からも愛されていることが高く評価されたことから、今回の受賞になったものと考えます。

関中学校は、これまでに木材利用優良施設コンクールにおける農林水産大臣賞を始め、様々な賞をいただいておりますが、また違った面を評価され、大変栄誉な受賞と思っているところです。